

メタルキャタライザーキット

取付説明書



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取付けは必ず専門業者に依頼してください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行ってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一、お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにご購入の販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別メタルキャタライザーキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド No.	33005-AT012
取付説明書品番	E65460-T10070-00
メ ー カ ー 車 種	トヨタ GRヤリス 4BA-GXPA16
エ ン ジ ン 型 式	G16E-GTS
年 式	2024年4月～
備 考	

（ 上記の適合情報は、2025年07月現在の情報です。
最新の車両適合に関しましては、弊社ホームページをご確認ください。
<https://www.hks-power.co.jp/product/exhaust/index.html> ）

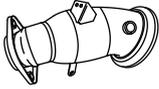
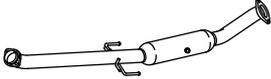
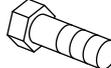


改訂の記録

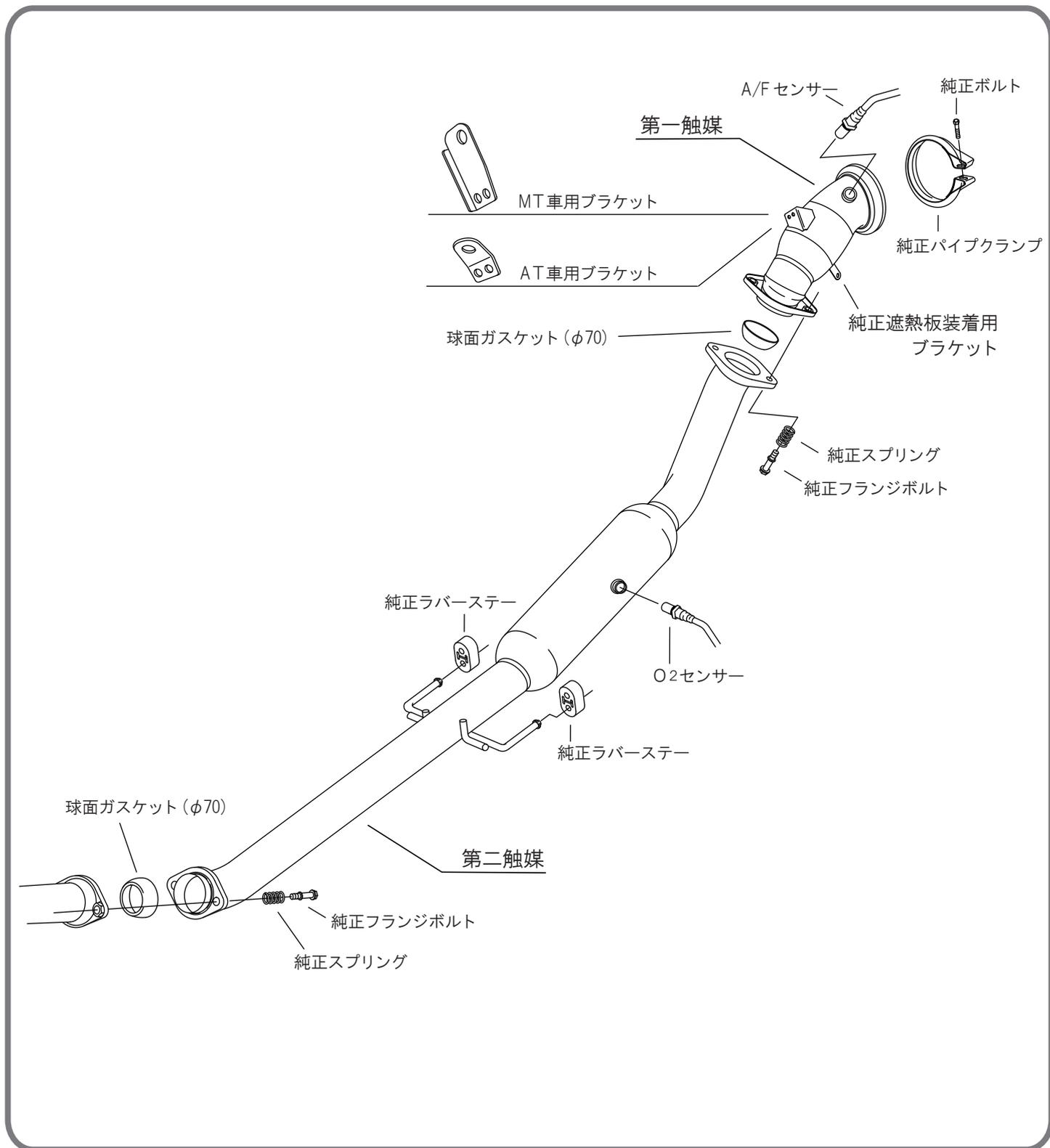
改 訂 No.	日 付	
3-3.01	2025/07	初版

HKS METAL CATALYZER

パーツリスト

連番	品名	数量	形状	備考
1	第一触媒	1		
2	第二触媒	1		
3	MT車用ブラケット	1		
4	AT車用ブラケット	1		
5	球面ガスケット(φ70)	2		
6	ボルト (M8)	2		
7	プレーンワッシャー (M8)	2		
8	スプリングワッシャー (M8)	2		
9	フランジナット (M8)	2		
10	タイラップ	1		
11	取付説明書・取扱説明書	1		本書
12	排ガス試験証明書	1		
13	保証書	1		

製品組付図



※パーツリスト内の部品を別途購入する際は、補修パーツとして設定してあるため、お買上げの販売店にお問い合わせください。

HKS METAL CATALYZER

A/F・O₂センサーの取外し・取付けについて

⚠ 注意

- 本製品の取付後にエンジンチェックランプ「A/F・O₂センサー異常」が点灯する場合は、A/F・O₂センサーまたはセンサーハーネスの破損、接触不良などが起きているおそれがあります。
A/F・O₂センサーおよびセンサーハーネスを点検し、破損している場合は修理・交換をしてください。

□センサー不具合発生理由

- ・センサー断線
- ・センサーコネクタ接触不良
- ・センサーヒーター一部異常
- ・車両側ハーネス断線および接触不良

⚠ 注意

- A/F・O₂センサーを脱着する際、センサー及びセンサーハーネスを破損させないように、必ず下記の事項を守って作業を行ってください。

- ・センサーコネクタを取外してからセンサーを取外す。
センサーコネクタを付けたままセンサーを外すとハーネスがねじれて断線することがあります。
- ・取外したセンサー部に油分・汚れを付着させない。
油分や汚れが付着したまま使用するとセンサーが機能しない場合があります。
- ・センサー異常によりセンサーの交換をおこなった場合は、コンピュータ（ECU）をリセットしてください。
センサーを交換しただけでは、ECUにエラー記録が残っていて、「エラー表示」される場合があります。

1. 純正部品の取外し

純正部品の取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と本書を併用して作業を行ってください。

- (1) 純正第一触媒、純正第二触媒、A/Fセンサー、O₂センサーを取外してください。
- (2) 純正第一触媒から遮熱板を取外してください。

警告

ラバーステーに潤滑剤等を塗付しないでください。
脱着時に潤滑剤等を使用した場合、確実に清掃を行い油脂分を取り除いてください。
油脂分が残っていた場合、走行中に外れるなど重大な事故の原因になります。

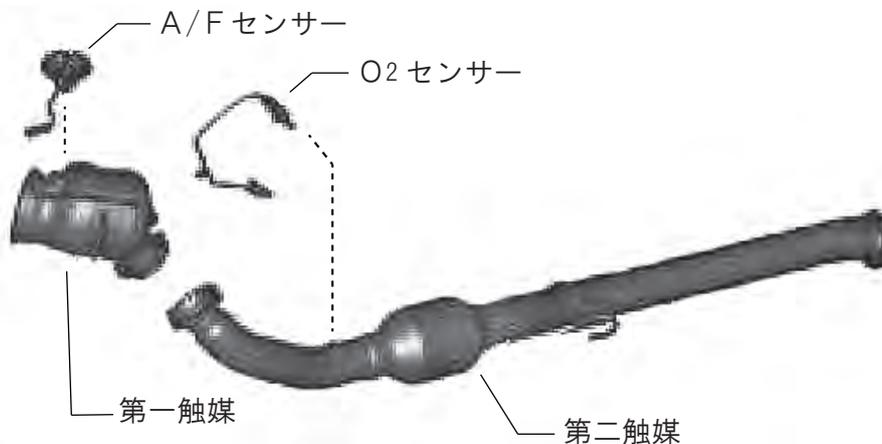
お願い

- 以下は純正品を再使用します。取扱いにご注意ください。
 - ・ A/Fセンサー
 - ・ O₂センサー
 - ・ ラバーステー(2)
 - ・ パイプクランプ (付属のボルト含)
 - ・ 純正第一触媒に装着されていた遮熱板 (付属のボルト含)

アドバイス

- センサーの取外しは、センサーハーネスを損傷しないように気をつけてください。
- 取外した純正第一触媒、純正第二触媒、純正球面ガスケットは再使用しませんので保管してください。
- ガスケットはキット内の新品を使用してください。

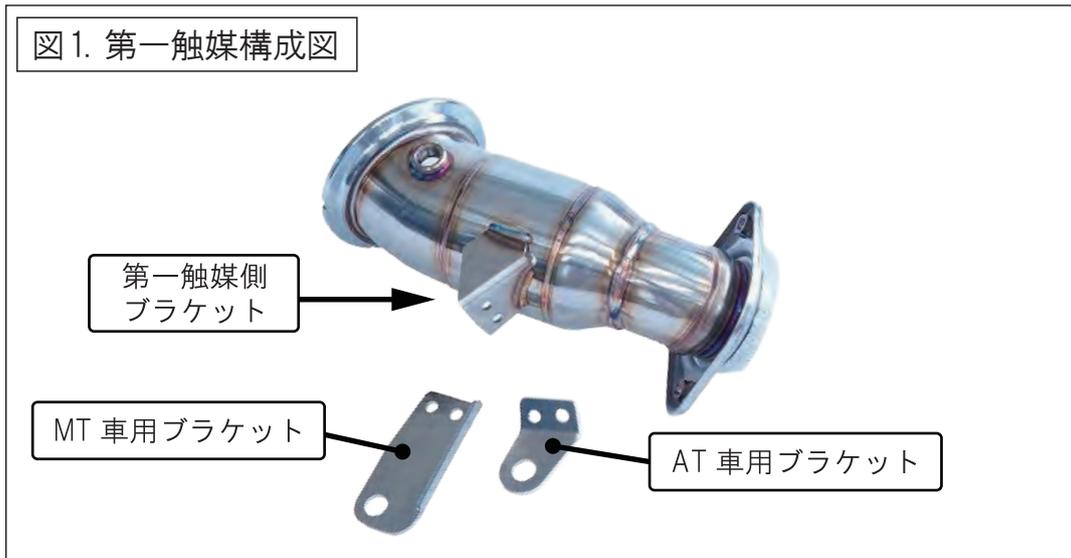
純正触媒構成図



HKS METAL CATALYZER

2. 第一触媒の取付け

- (1) A/Fセンサーを取付け、規定トルクで締付けてください。
- (2) 適合するブラケットを取付けてください。
本製品はMT車、AT車共通品のため、MT車用ブラケットとAT車用ブラケットが同梱されています。(参照：図1. 第一触媒構成図)

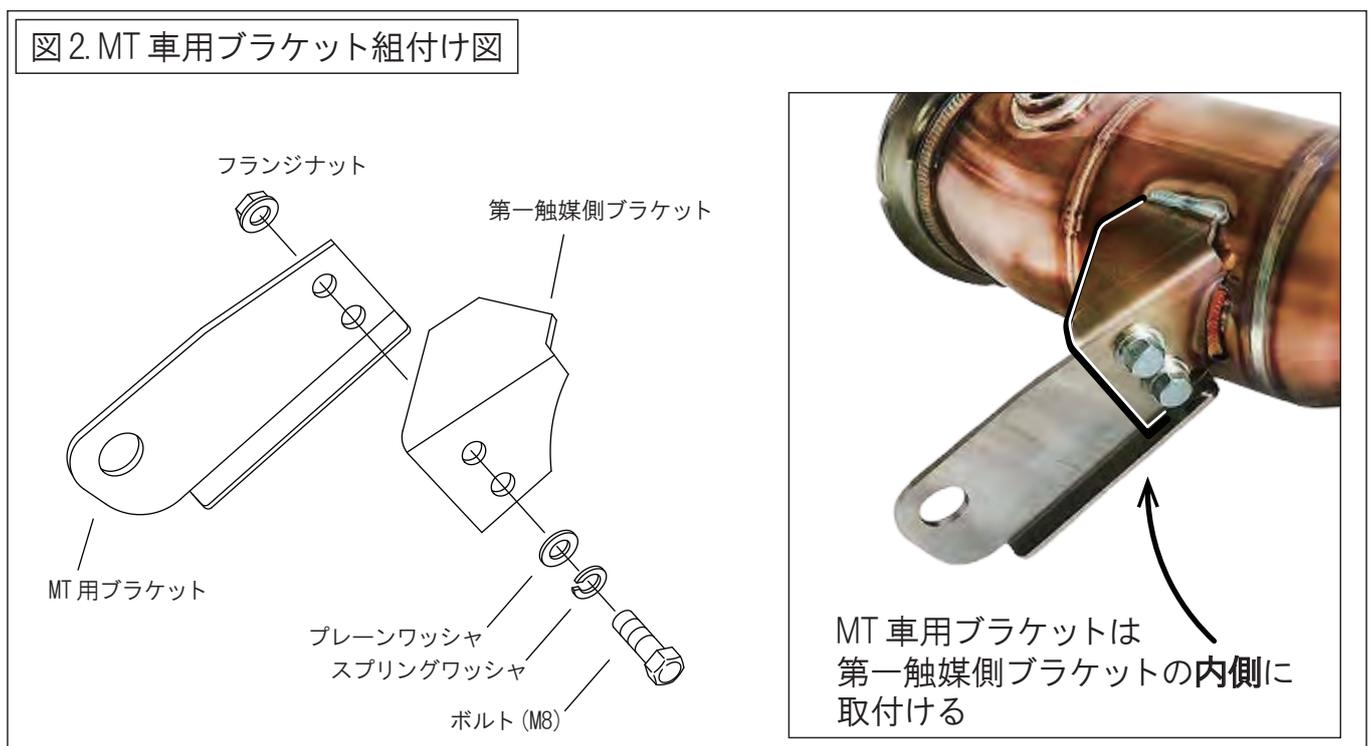


<< ブラケット取付け方法 >>

○ MT車

ボルトにスプリングワッシャーとプレーンワッシャーを通し、第一触媒側ブラケット、MT車用ブラケット、フランジナットの順に取付けて仮締付けしてください。

(参照：図2.MT車用ブラケット組付け図)

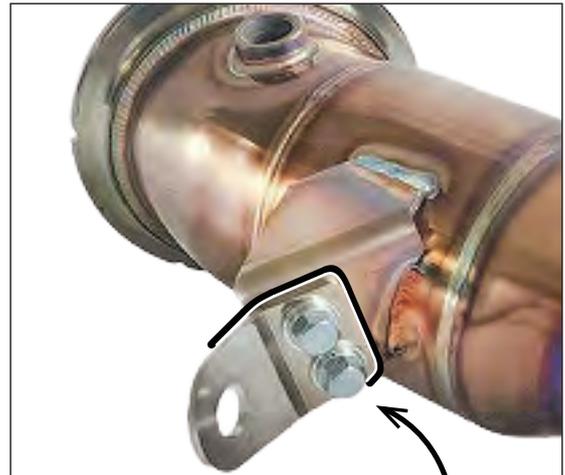
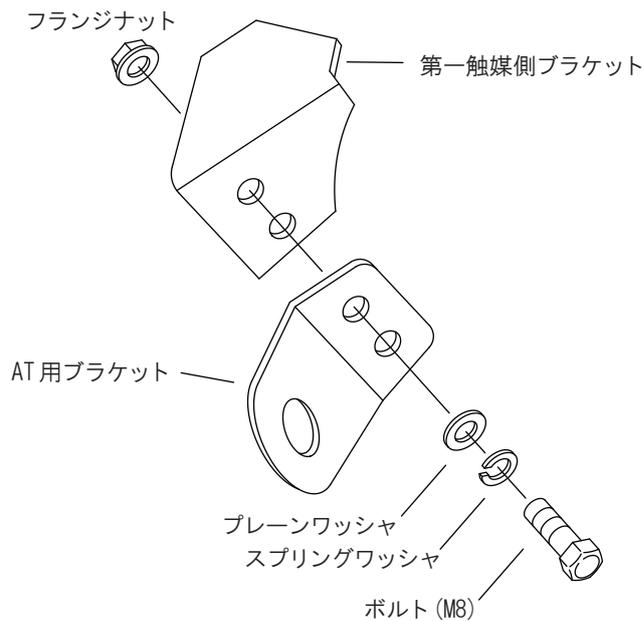


○ AT車

ボルトにスプリングワッシャーとプレーンワッシャーを通し、AT車用ブラケット、第一触媒側ブラケット、フランジナットの順に取付けて仮締付けしてください。

(参照：図3. AT車用ブラケット組付け図)

図3. AT車用ブラケット組付け図



AT車用ブラケットは
第一触媒側ブラケットの**外側**に
取付ける

- MT車用ブラケット、AT車用ブラケットは取付け方法が異なります。正しい位置で取付けを行うように注意してください。

取付けを誤った場合

- ・ MT車用ブラケットを第一触媒ブラケットの**外側**に取付けてしまった場合、MT車用ブラケットと車両側ブラケット取付面との間に隙間ができてしまいます。隙間がある状態で締付けた場合、排気漏れする可能性があります。
- ・ AT車用ブラケットを第一触媒ブラケットの**内側**に取付けてしまった場合、ターボとの接続面が合わない為装着ができません。ターボとの接続面が合わない状態で締付けた場合、排気漏れする可能性があります。

⚠ 注意

HKS METAL CATALYZER

- (3) 純正遮熱板装着用ブラケットへ純正同様に遮熱板を取付けてください。
(参照：図4. 純正遮熱板取付け参考図)



締付トルク N・m(kgf・m)

遮熱板ボルト

5 N・m (0.5 kgf・m)

- (4) 純正パイプクランプ、純正ボルトを使用して第一触媒を純正第一触媒があった場所に取付け、規定トルクで締付けてください。
(5) ブラケットのボルトを規定トルクで締付けてください。
(6) 取外した純正部品を取付けてください。

締付トルク N・m(kgf・m)

A/Fセンサー

44 N・m (4.5 kgf・m)

純正パイプクランプ用ボルト

18 N・m (1.8 kgf・m)

純正座付ナット

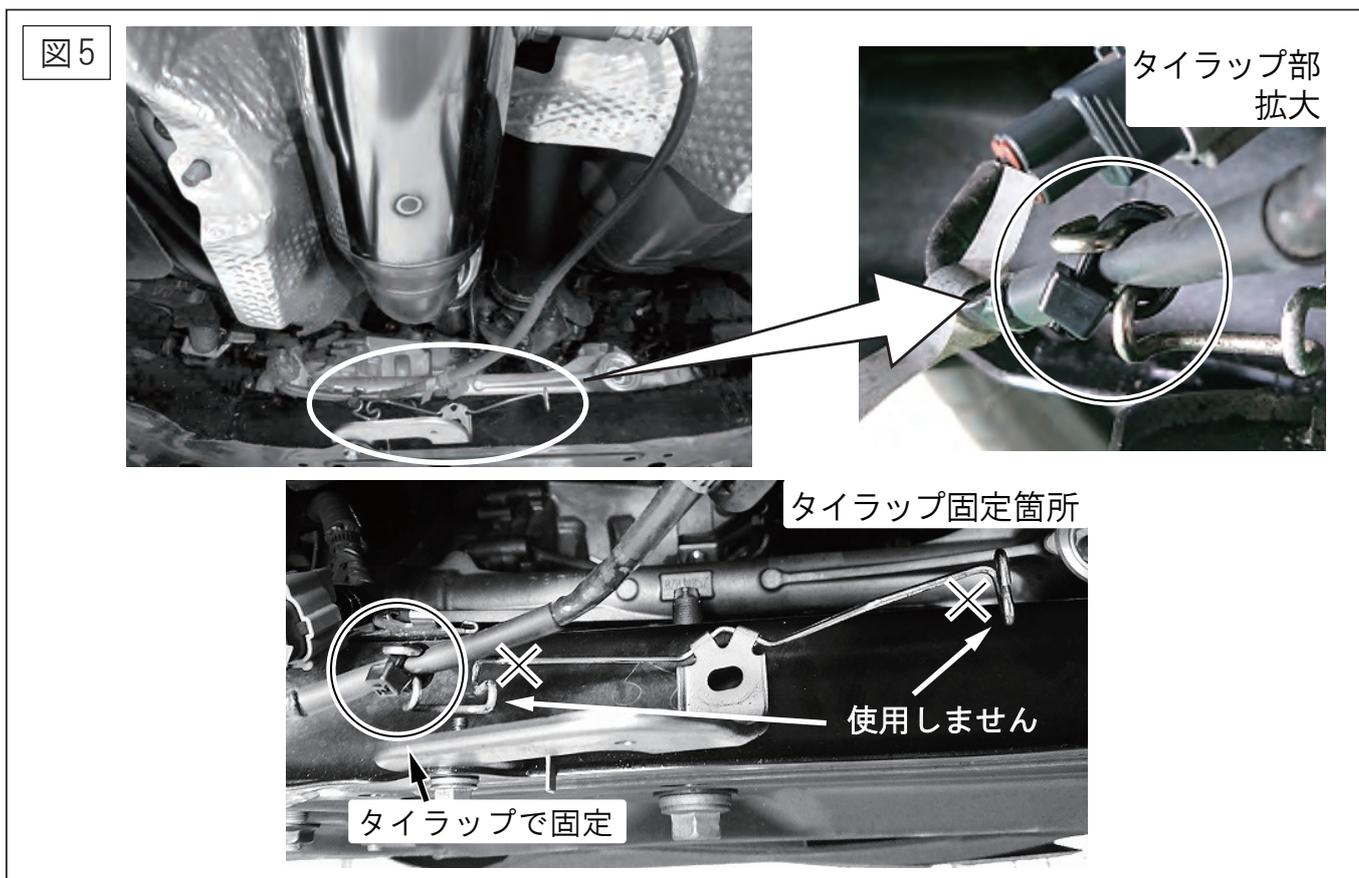
43 N・m (4.4 kgf・m)

ブラケット ボルト

17 N・m (1.7 kgf・m)

3. 第二触媒の取付け

- (1) 第二触媒に付いている吊り下げ用フック2ヶ所に純正のラバーステーをはめてください。
- (2) 純正フランジボルト、純正スプリング、付属の球面ガスケット(φ70)を使用して第二触媒を取付け、規定トルクで締付けてください。
- (3) O₂センサーを取付け、規定トルクで締付けてください。
- (4) O₂センサーハーネスを図5のように付属のタイラップで固定してください。(1ヶ所)



- (5) 第二触媒とマフラーの間に付属の球面ガスケット(φ70)を入れ純正フランジボルト、純正スプリングを使用して取付け、規定トルクで締付けてください。
- (6) 取外した純正部品を取付けてください。

締付トルク N・m(kgf・m)

純正フランジボルト
O₂センサー
純正ボルト

43 N・m (4.4 kgf・m)
44 N・m (4.5 kgf・m)
43 N・m (4.4 kgf・m)

HKS METAL CATALYZER

4. 取付け状態の確認

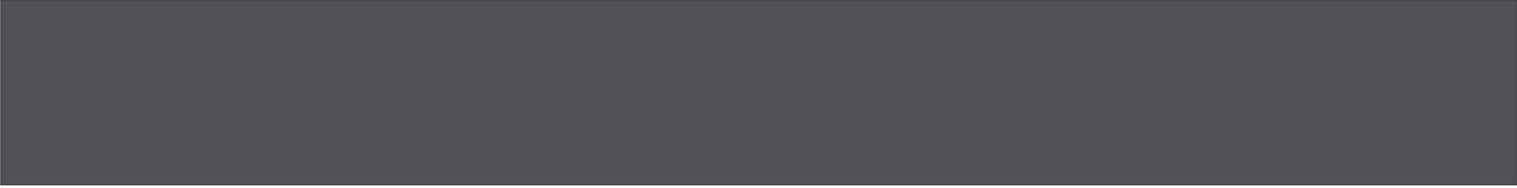
- (1) 取付け作業終了後、各部に干渉が無いことを確認してください。
- (2) エンジンを始動し、約2500回転で回して排気漏れや異常音を点検してください。
- (3) 試運転により、再度排気漏れや異常音を点検してください。
※ 取付作業終了後、必ず取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行ってください。

5. 取付け後の確認

- (1) 本製品を装着すると過給圧特性の変化が考えられます。過給圧を変更している場合はノッキングの有無や、最大過給圧の確認を行ってください。必要であれば再セッティングを行ってください。

注意

- 車両による個体差や、併用する部品により性能変化には差が生じます。同様にノッキング等の発生も一様ではない為、製品装着時には十分注意し問題が確認された場合は、セッティング状態と併用部品を検討してください。





株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181
<https://www.hks-power.co.jp/>

メタルキャタライザーキット

取扱説明書



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取付けは必ず専門業者にご依頼ください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行ってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

目次

	ページ
はじめに	1
製品についてのご説明	1
安全上の注意	2
取付方法	3
取付けを行う前に	3
取付後の確認	3
維持・管理	4
異常・故障等の対応	4
アフターサービスについて	4
譲渡等の際の注意	5
排ガス試験証明について	5

はじめに

この度は、H K S 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書をよく読み、理解したうえで取付けを依頼してください。

取付けは必ず専門業者に依頼し、取付け終了後は本書に記載されている内容を守り安全にご使用ください。

本書は取付けを行う前に必ず読み、よく理解したうえで作業を行ってください。

ノーマルパーツの取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と本書を併用して作業を行ってください。

整備書がお手元に無い場合は、新たに購入してください。

製品についてのご説明

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を記載しています。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はノーマル車両及びH K S 製品を装着している車両への取付けを基準に製作されています。上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
This Product is designed for use in Japan only.
It must not be used in any other country.
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 消耗部品や紛失部品および本書のご注文は、お買上げの販売店にお問い合わせください。部品を発注する際は、商品名・コードNo.・エンジン型式を注文先にお伝えください。コードNo. は本書のパーツリストに記載されています。
- 取付け終了後、本書”アフターサービスについて”に記載されている取付け業者名記入欄に必要事項を必ず記入してください。
- 本製品はノーマル車両に装着した際、道路運送車両法の保安基準第31条「ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置」の基準に適合するものです。
- 車両によっては、本製品に交換する事で近接排気騒音が増加し、道路運送車両法の保安基準第30条「騒音防止装置」の基準に適合しない場合があります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用しお客様への危険レベルを示しています。



警告

- この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。



注意

- この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある場合、または物的損害の発生する可能性がある場合。

本製品を正しくお取扱いいただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。



警告

- 爆発及び火災防止のために、次のことを守ってください。
 - ・換気のよい場所で作業してください。
 - ・可燃物を取扱う際は、火気に充分注意してください。
- 電気ショートによる電装部品の破損及び焼損・火災を防止するために、次のことを守ってください。
 - ・コネクタを取外す時は、断線しないようにコネクタを持って取外してください。
- 車両をジャッキアップする場合には輪止めをかけ、ジャッキは必ず所定の位置に当ててください。又、そのまま作業せずリジッドラックで支えてから作業を行ってください。
 - ・所定外の位置でのジャッキアップはバランスが悪いばかりでなく車両を傷つける恐れがあります。
 - ・リジッドラックを確実にかけないと車両が落ちて怪我をしたり最悪の場合死亡する恐れがあります。



注意

- 本製品の誤使用は絶対に行わないでください。
 - ・誤使用したことにより異物がキット内に入り、最悪の場合エンジンが壊れる恐れがあります。本来の性能を損なう恐れがあります。
- 作業を始める前にキャタライザーの温度が約40℃位（手で触れて熱くない程度）に下がっていることを確認してください。
 - ・火傷をする恐れがあります。

取付方法

- 製品の構成部品をパーツリストに記載してあります。取付け前に異品・欠品のないことを確認してください。
- ノーマルパーツの取付け・取外し作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでから行ってください。整備要領書がお手元にならない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 本製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり、強いショックを与えないでください。
- ボルト・ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。必要以上に締付けを行うと、ボルト類のねじ部が破損します。
- 取付け作業のため一時的に取外すノーマルパーツは破損又は紛失しないように保管してください。又、ノーマルパーツを取付ける際間違えて取付けないように、取外すノーマルパーツにはマーキングをしてください。

取付けを行う前に

- ★ノーマルパーツの取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と取付説明書を併用して作業を行ってください。

取付け後の確認

始動直後は回転を上げないようにしてください。(アイドル運転)

	始動前	始動後	停止後	走行後
ボルト・ナット類が確実に締まっているか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
取付けた部品がしっかり固定されているか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
軽く空吹かしを2, 3度行ない排気ガスが漏れていないか		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>



- 仕様により燃調セッティングが必要な車両の場合、セッティング中の失火やレブリミッターにあてる等して、排気温度の過度の上昇が繰り返されると、キャタライザーが破損する恐れがあります。その場合、クレーム対象外となります。また、純正以外のECUを使用しないでください。純正以外のECUを使用した場合、クレーム対象外となります。

各部確認終了後、バンパ及びアンダーカバーを取外して作業していた場合には、元通りに取付けてください。

維持・管理

快適に運転していただくために、自動車を運行する前には必ず日常点検を行ってください。

- 日常点検は自動車の使用車または運行する者の責任です。必ず実施してください。
- ユーザーマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。
- プラグは走行状況に応じて変更してください。
- オイルは定期的に交換してください。オイルを交換する際には、HKS指定オイルをご使用ください。

交換目安：3,000 ～ 5,000 km毎 又は、3～6ヶ月毎 に交換してください。

異常・故障等の対応



- 走行中、音等の異常を感じた場合は直ちに走行を中止し、原因を確認してください。キャタライザーの脱落が生じている場合には、エンジンを再始動しないでください。
 - ・専門業者に状況を告げ、修理を依頼してください。
 - ・その場で安全な修復が出来ない場合は、応急処置の方法を聞いて対応してください。作業はキャタライザーが充分冷えた状態で行ってください。
 - ・必ず専門業者の指示に従ってください。
最悪の場合、キャタライザー脱落による事故が起きる恐れがあります。

- 故障等の修理はお客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、異音・異臭・振動等の異変があった場合にはユーザーマニュアルに従って対処してください。

アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせは、専門業者又はお買上げの販売店にご相談ください。

取付け業者名	
電話番号	
担当者名	
お客様氏名	

譲渡等の際の注意

本製品を譲られるときは、必ず次のオーナーのために取扱説明書を一緒にお渡してください。
本製品を車両より取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。

排ガス試験成績書について

- 本製品には道路運送車両法 保安基準第31条に基づく排ガス試験成績書の写しが同梱されています。継続車検時等において、成績書の掲示が求められる事がありますので、常時車両内に保管してください。

※「排ガス試験成績書」は車検合格を保証するものではありません。

- 一部車種において排ガス試験成績書の写しに車台番号を記入する欄があります。その場合、本製品購入後、使用する車両の車台番号を記入して保管してください。





株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山 7181
<http://www.hks-power.co.jp/>